

われもこつ 第32号

2012年2月15日 発行

軽井沢でよく目にするドングリはコナラやミズナラの実です。コナラは里山の雑木林を代表する木で、薪や炭など燃料として、またシイタケなどキノコ栽培の原木として人の暮らしに深く関わってきました。

英語の「オーク oak」とはミズナラのこと。古くから船や家具、ウイスキー樽の木材として利用されてきました。日本のオーク Japanese oak (ミズナラ) も家具材向き。コナラより冷涼なところに生えます。本州ではその境目は標高1,000mくらい。ミズナラのドングリは冬ごもり前の熊の大切な食糧になります。ミズナラの生える森を護ることは、熊の生息域を護ること。里山は人の生活圏や農地と熊の棲む森を隔てる役目も果たしています。



ドングリは秋、地面に落ちるとすぐに発根、翌春には発芽します。コナラやミズナラは地中深く根を張り保水能力にも優れていて、土砂崩れを防いでくれます。

そして新緑。

淡い緑色の靄につつまれたような軽井沢の春は、コナラの林が作り出す幻想的な風景です。

特集◆エコするひとびと。◆太陽光発電／カラマツストーブ

軽井沢で実践！我が家の太陽光発電



三人家族の
I子さん

ソーラー発電は家の新築の後で二年ほど経ってから、住宅会社の営業の人に勧められたのがきっかけです。すでに工事を始めていた友人からの話にも影響を受けました。少しでも自家でエネルギー生産ができること、補助金が出るというのが魅力でした。

パネル数は二二五wのものが二〇枚で、蓄電装置はありません。屋根の構造上から西側に設置するしかありませんでした。南側につけたものと比べると二〇%ほど発電量が落ちることです。設置費はわが家の場合は二五〇万円弱で、後で話題になる友人宅よりはかなり安くすみました。ただし、メーカーにより性能も違うということでもあるでしょうから、一概に安いほうがいいとも言えないかもしれません。設置費のうち七〇万円は町と国から補助金が出ました。平成二二年八月末から発電

が始まりました。

この設置のおかげで電気料金の計算式が今までのものと変わって、「深夜料金」というものができ大功かりです。うれしい驚きでした。これまで終日一律だった料金が二つの時間帯に区分けされ、夜間（午後一時～午前七時）に限り三分の二ほど減額になりました。洗濯機、たまたに使う食器洗い機、床暖房を補うためのエアコンの使用などは、できる限り深夜料金帯に済ませるように心がけています。

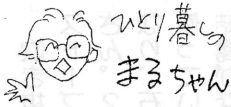
でも、オール電化方式の友人宅では料金ももっと細かく、三つの時間帯で（しかも平日であるか休日であるかも加味されて計算されるぞうです。それぞれの家庭の契約形態によって電気量料金の算出方法は複雑に違ふのだということを知りました。

冬になれば太陽が遠くなるので発電量は落ちますし、雪が降れば溶けるまでは発電はできなくなります。このころでは発電量はとても毎日の使用量には追いつきません。でも、

設置してから現在までの一六ヶ月間の売電量と買電量を単純に比較すると、払った電気料金を一〇〇とすれば、売って受け取った売電料金は一四五です。この報告を書くことになってから計算したのですが、私自身にも右の事実は驚きでした。どのくらいの値段で売った結果かということ、わが家で発電を始めたときの契約では、むしろ一〇年間に限り一時間一kw発電すると四八円で買い取ってもらえるのだぞうです。早い時期に太陽光発電を始めたので、現在ではこれはかなりいい買取り値段であるぞうです。

九月から一一月までの実績を比べて見ると、わが家の場合は一昨年よりは昨年の方が発電量は多いです。近所の友人の家の場合は逆に、一昨年の方が多かったとのこと。この両家の違いの理由は（素人の考えですが）日照の時間帯が昨年は一昨年よりも午後が多かったということではないかと話しています。南向きに設置してある友人宅では午後の発電量

エコするひとびと。



以前からエコな生活（地球温暖化を止めるため企業も個人も）をしなければと思っていました。エコ生活にはお金を掛けなくてもできること（ごみの分別再利用、生ごみや落ち葉の堆肥化、風呂水の活用等）と、ある程度初期投資をしなければなら

ないものがあると思います。初期投資が必要なものは、雨水の活用、風呂水の温水化、太陽光発電等です。雨水の活用は考えましたが、かなりお金がかかるのと宅地が狭いのであきらめました。軽井沢は自然が豊かで水は何とかなるのではと思った面もあります。

屋根の上に載せる温水器は、屋根に負荷がかかるので見合わせましたが、屋根の上には水を温めるパネルを載せ、水は地上のタンクに置く循環型のシステムがあることを知って、それを設置しました。これで灯油（化石燃料）の消費がぐんと減りました。その時から業者がしきりに太陽光発電をすすめます。

太陽光発電はぜひ設置したいと思っていましたが、いかにせん高い。

政府が補助金を出すことになり、自治体でも補助金を出すところが次々。でもまだ軽井沢町は出すといわない。急ぐなよ、軽井沢町が補助金を出すようになったら設置しようと思っていたところ、

ができるようになりました。

が少なく、屋根の西側にパネルがあるわが家の場合は午後の発電量が多かったということなのではないかと。

設置を決めたときに夢見ていたように、一〇年で元がとれるかどうかはわかりません。一〇年経つ前に故障があるかもしれない。でもやっけてよかったと思っております。電気だけでなく、水や灯油などの使い方とか、いろいろなものの節約や売買の仕組みなどについて考えること



2010年から補助金が出るようになったのでその年の6月設置しました。

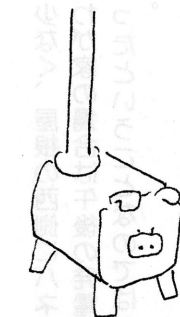
ソーラーパネルの大きさは163w用20枚で5m四方強の広さ。設置費用180万円ほどかかりましたが、国から7万円/1kw（現在は4.8万円）、町から10万円/1kw、あわせて55万円の補助金が出ました。

パネルで作った電力は1kwhあたり48円で中部電力に売っています。また電力会社から買う電力料金は、夜間料金で買うことができます。夜間料金は午後11時から午前7時まで。1kwhにつき9.33円です。エコキュートや太陽光発電はこの料金で契約しますので、冬場の凍結防止に使う電力は安くなりとても助かっています。ちなみに午前7時～午後11時（デイトタイム）の電力料金は90kwまで1kwhにつき20.70円です。

太陽光発電は、私の消費電力をはるかに超える発電をしてくれて、助かっています。

エコするひとひと。

吹き抜けの玄関にカラマツストーブを置いたのは、M子さん。2階がほんわか暖かくなり、石油ファンヒーターを使っていた頃悩まされていた結露がなくなっただけです。ストーブの上でお湯を沸かしたりコトコトシチユーを煮込んだり。沸かしたお湯は湯たんぽにも利用。玄関上部に物干し竿を取り付けたので洗濯物を乾かせます。一台で三役も四役もこなしてくれるそうです。他の薪に比べ安価なカラマツの間伐材も燃やせるので経済的。鋳物製の薪ストーブが苦手とするヤニの多い針葉樹の薪も鋼鉄製のカラマツストーブならOKです。



M子さんのストーブは
7"クワに見えるらしい...

シーズン中M子さん宅の薪代は、月平均八千円くらい。軽井沢向きのストーブですね！

みなさん
ストーブの薪
どうしているの？



(つっちー)

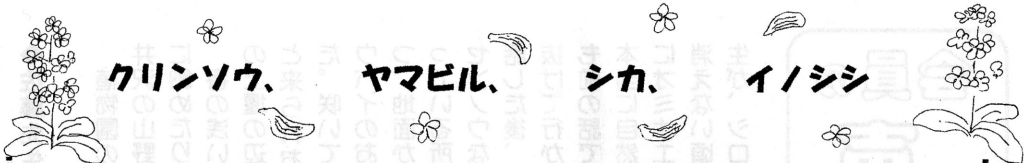
このところ毎日、ストーブが大活躍です。今年我が家では、いままで割った薪が残り少なくなってきましたが、この冬はなんとか持ちそうです。ところで冬場に、薪はいったいのくらい必要なのか、どのくらい費用がかかるのか試算してみました。ただし、ストーブの大きさ、薪を燃やす時間、部屋の仕様等々多くの条件により薪の使用量が変化しますので、ご注意を！

それでは始めます。一日の薪の必要量を三束(一束約六本)とします。すると一ヶ月約九〇束。ストーブ活躍期間を一月から翌年三月の五ヶ月としますと、期間中約四五〇束となります。ある情報によると、ワンシーズンの必要量はおおよそ四トンと言われています。次に、費用を算出します。市販の

薪の価格は、一束約七〇〇円。シーズンで三一五、〇〇〇円となります。すべて市販の薪で賄うと、かなりの金額になります。ここから皆さんの腕の見せどころではないでしょうか？

費用をかけないなら、すべて自分で調達することです。情報網を張り巡らせて、建築業者、造園業者などの日頃のお付き合い、また自分で探して現場に駆けつけたりすることです。また、費用を抑えるなら、原木を購入し自分で玉切りし薪割りをします。ある森林組合では、原木四トンを五五、〇〇〇円程で販売しています。

いずれにしても、ストーブを所有するということは、それなりに努力、苦勞、時間が必要です。ただ、それ以上に、なんともいえない温もり、雰囲気が生まれ結果として、スローライフを楽しむことが出来るのです。お金に換えることが出来ない何かがあるのです。みなさん頑張りましょう！



クリンソウ、ヤマビル、シカ、イノシシ

生物名を「脈絡なく」並べたが、これらは互いに関連しているという話である。我が家ではクリンソウが数百株はあろうか。7、8年前に友人から3株もらい受けたところ増えに増えて、人様にはドンドン差し上げ、しかも了解を得て近所の別荘に植え拓げているにもかかわらず……。キレイな花だし花期も長いから、それはそれで良いのだがサクラソウや他の野草が駆逐されてしまう。

何故、かように増えるのか、我が家の庭が谷筋にあり、やはり湿気が多いということであろう。クリンソウの葉は大きくて柔らかいから、湿地ですら日照がきついとしぼんでしまう。乾燥にはめっぽう弱いようである。しかし拓がるにはもう一つの理由があるようだ。それはイノシシである。我が家はけもの道と繋がっていて、今年などはある時期、每晚庭を散々荒らしてくれた。ところがクリンソウの株には全く手を付けない。結果、クリンソウはますます拓がるということになってしまう。

ところで全国的にシカの被害が大きくなっているが、シカもクリンソウには手をつけない。栃木県日光でもそれ故クリンソウが増えているが、特に北海道では著しいようである。今年春に北海道の野草愛好家が我が家を訪れたが、クリンソウをまた見せられてうんざりした様子だった。どうもクリンソウは大型獣への忌避物質を出しているらしい。クリンソウの生葉を揉んだ汁は、傷・腫れ物に絶大な効果があるというが関係するのだろうか。

またまた話は飛躍する。最近、ヤマビルの進出が甚だしい。ヤマビルは平素落ち葉の中や樹上に潜んでいるが、人や動物が近づくと何匹もが取り付き、それぞれ体長が4~5cmくらいになるまで吸血する。そして吸った後はいつまでも傷口からだらだらと血が流れ落ち、非常にイヤな虫である。ヤマビルは血を吸わなければ増殖できない。DNAで調べると、ヤマビルが吸っているのは主にシカの血だそうである。シカの進出がヤマビルをもたらししている。登山で親しまれた丹沢はシカの増殖と共にヤマビルだらけになって、寒さでそれが行動できない晩秋~春を除くと皆さん敬遠しているようだ。碓氷峠から横川に下る中山道も比較的暑い季節は大変らしく、今年も知人がヒドイ目にあってもうコリゴリという。白糸の滝に至るハイキングコースでも被害は確実に増えてきている。別荘地帯も例外ではない。ただ「被害先進地域」の経験では、「落ち葉かき」をするとそこに潜んでいたヤマビル、そして被害も激減するという。別荘地は山野に比べて手入れが良いからこれ以上の悪化は無いと期待したいものだ。ただそれにはシカの駆除や山野がこれ以上荒れないことが必要であろう。

ついでながらクリンソウの学名は *Primura japonica*、文字どおり日本原産である。ついでながらサクラソウは *Primura sieboldii*、これもシーボルトが「発見」した日本原産である。

良武

◆佐藤先生との思い出

植物園のなかつた頃、佐藤先生は軽井沢の山野をくまなく歩かれ、カメラに納めたりしておいでであった。

春の浅い時に、干ヶ滝から御影用水の上堰の辺りから、丁度我が家の方へと来られお目にかかったことがあった。咲いていたアズマイチゲやダンコウバイのお話をした。ほんのわずかず

つ、地面から水が染み出して湿地になっている所に植物が育ち、特にエンピセンノウなどが生えていることなどを話した後、古宿を通り、油井の方向に抜けて行かれたことがあった。五〇年も前の話である。セリ狩りも入らず、本当に自然のままの畔の道、小さな丘にオミナエシやエンゴサクなど、まだ消えない頃、離山をよく歩いている先生が、シロガネセンノウを見つけ出されたりしていた。

合員の声

シロガネセンノウは、植物園でもなすすべもなく無くなって、先生と二人でなげいた思い出があ

る。軽井沢では道路がやっと舗装が始まった頃で、追分や南原など草原が沢山あって、野草がいたるところ美しかった。軽井沢駅で降りて途中で花を取りながら、旧軽井沢の別荘に歩いて行くと、野草が美しく活けられたなどの話を聞いた事もあった。それは、素朴な軽井沢の昔の話で、懐かしい思い出である。

植物園を造る話が始まり、急にお忙しくなられた先生は、ご自分の庭に植えられていた大切な植物や樹木を植え込み、池を造られた。あれだけの狭い土地にもかかわらず、軽井沢の百種の植物を、湿地植物から乾燥地の物など心配りしながら造られ、どんなに大変だったかと思う。四、五〇年前に、四国カッコウ草と言っていたいた花がある。何年か前先生に、「どうしましたか？」と伺った時、「なくなってしまうんだよ」とおっしゃっていました。私の庭では毎年咲いている。今年特に広がって紅紫色が美しく風に揺れている。私の庭が好きだと見え、何人かの方にも分けた。その他に花車というサツキを挿し木していただ

いて、今では大株になって誰もがめずらしいとほめて下さる。斑入りのノコンギクとか、先生の思い出の花が、私の庭には何本もある。先生は私と同じ大正生まれ、何かあると教えをこうた。今年、庭で見知らぬ小さな花を見つけたが、今、種をつけているが何だか分からない。先生がいらいらしたら迷わず伺いに行けたのにと思いながら、今はいらっしやらない先生をお慰みしている。花車のようにやさしく、そして強く、隔てなく、万人に愛された先生であられた。〈野口 リツ子〉

◆時間をかけたもの大切さ

たまにやってくる親族や訪ねて来られるお客様に何か喜ばれるものを・と考えることはありませんか？そこで私は五年、一〇年後をにらんで果実酒を作ってみました。自生している果実などを使って・・・。飲むときにはどんな色、味に変わるかが楽しみます。その時には我が「家宝」になっていることを夢見ています。若くはない年齢になってからは新しいものよりも

◆2011年を振り返る

2011年は、長い人生の中でも忘れられない年になりそうである。10年前の9月10日は千葉県で、BSE（狂牛病）を発見し、翌日発生の9・11ニューヨークテロ事件の陰で酪農農家や焼肉屋等の関係者と事件解決に神経をすり減らしてきた。今年の3・11東北大地震では航測会社で被災地の空撮を指揮し、以降の被害調査や復興計画策定業務に係わりを持ってきた。人間の運命とは分からないものではあるが、被災後の悲惨な現場を目にした時は、ただただ呆然とするだけで、その後の対応を考える余裕は全くなかった。しかし、しばらく時間をおいて、生きている自分の幸運さに感謝すると同時に、これから発生するかも知れない新たな災害にどの様に準備すべきか、出来るだけ多くの全国に勤務する社員を現地に派遣し、自分の目で被災現場を見て考えさせるようにしている。可能であれば清掃ボランティア活動にも従事させるようにしているが、中には夜の飲食店で顔なじみになった店主らと、定期的に被災

地に炊き出しに出かけている社員もいる。

さて軽井沢に帰ってからの自分はどうか。福島・栃木・群馬の山沿いに比較的高い放射線量が測定されている箇所がある事を環境省データから認識している。その延長上にある我が町軽井沢についても、新聞報道等から結構高い線量の場所がある事が言われているが、自分の裏庭を見るたびに「本当かな？我が家だけは違うのでは？」と勝手に思いを巡らせつつも、昨年から元気よく出始めたシイタケを昨年は一度口にただけで、残りはホダギの上で干しシイタケになっている。放射線量の測定機器は、簡易なものが出回っているが、専門家から言わせるとかなりの誤差もあるとか。自分で裏庭を毎日測定すれば気が休まるのであろうが、手に出来る簡易測定器ではかえって世間を混乱させるかも知れないと思うと、「気にしない、気にしない。春になれば雪解けで流れ去って行くかも」と思いながら、家内と落ち葉がピッシリと詰まった排水溝の掃除をして一年を終えた。

〈大槻 幸一郎〉

「何年もの」といわれるような時間をかけた物にこそ値打ちがあると思うようになりました。継続、伝承、伝統というまでにはいたりませんが、時間をかけることの重みを感じるのです。材料はホワイトリカー、氷砂糖にチヨウセンゴミシ、カリン、ユズ、リンゴ、セイヨウナシなどでした。合計一〇リットル近く。

話は飛びますが、南信地方の遠山郷九地区で毎年旧暦霜月（新暦一二月）に行われるお祭りの一部を見学してきました。一年で最も日が短い時期に社殿で神々を招いて煮え湯を献じ生命力の再生を祈る儀式で深夜、明け方まで行われます。担い手が少なくなっている現在、なかなか運営が厳しくなっているようですが、間近で見学して子どもを含めた住民が千年近くも伝統を守ってきた凄さに圧倒されて、続けること、伝えることの重みを教えられて帰ってきました。

私に出来る事は自然の恵みをいただいでじっくり時間をかけること。

これはスローライフであり、楽しいことです。（洋子）



われもこうの会 2011年度総会のお知らせ

<日時> 3月11日(日)午後1時30分より

<会場> 軽井沢町中央公民館 第1会議室

- ◆会場準備のお手伝いをできる方は1時15分頃集合して下さい。
- ◆マイカップ持参でお越し下さい。
- ◆昨年われもこうの会の原っぱで収穫した野の花のタネをお配りします。

会員募集中!

地域で何かボランティアしてみようかな…
という方、「われもこうの会」は
いかが?

野の花の名前も覚えられますヨ



年会費・・・2,000円

65才以上と18才未満の方……………500円

家族で会員になる方2人めから…500円

*** 編集後記 ***

今号は会員や会員の家族やお友達からたくさん原稿を寄せていただき、ぎっしり詰まった「われもこう」になりました。表紙のイラストは別荘民でふだんは奈良県にお住まいの佐藤さん。冬枯れのプランターでしぶとく葉っぱを付けていたコナラの赤ちゃんを見つけ写真に撮って奈良で描いてもらいました。文章は、前号まで「軽井沢の樹木」シリーズを執筆下さった星野さんに監修していただき、出来上がりました。皆さん、ご協力ありがとうございました。(I)

第2回ボランティア見本市のお知らせ

町内のボランティア団体が一堂に会して活動を紹介したり、交流を深めたりする年に1度の催しです。展示コーナーや体験コーナーで新発見もあるはず。

軽井沢町のボランティア活動を深めて パワーアップしよう!

- ◆期日 3月25日(日)
- ◆時間 午後1時30分～4時
- ◆会場 中央公民館 大講堂

お問い合わせは 軽井沢町社会福祉協議会
ボランティアセンターまで
TEL. 0267-45-8113

ホームページもご覧ください

<http://www.h5.dion.ne.jp/~waremoko/>

発行/われもこうの会

事務局 TEL・FAX/ 0267(46)2505